

休日の部活動の地域クラブ化って…なに？

遊佐町教育委員会

国（スポーツ庁・文化庁）は、令和5年度から令和7年度末までの3か年で、「休日の部活動を段階的に地域に移行する」という方針を打ち出しました。報道でも取り上げられていますのでご存じの方も多いと思いますが、これは、部活動や中学校そのものの在り方を大きく変えるものです。その背景やねらい、遊佐町教育委員会としての今後の対応などについてお知らせします。

そもそも、どうして？

少子化

教員の長時間労働

活動種目の制限

今、中学校の部活動が直面している課題

- 少子化に伴う生徒数の減少で部員数が減り、チームを編成できず大会に出られない。さらには、廃部に追い込まれるケースも増えつつあります。
- 本来、部活動は生徒の主体的意志を尊重する任意加入制が望ましいと思われませんが、様々な実状から、限られた種目の中から、全員がいずれかの部を選択して所属する全員加入の学校が多い現状です。（遊佐中は任意加入。）
- 自ら経験がない種目の顧問を担う教員が多いため、指導が難しい上に負担感も大きく、部活動指導が教員の長時間労働の大きな要因にもなっています。（早急な対応が求められる教員の働き方改革の推進上、部活動が最も大きな課題）

つまり…子どもたちにとっても、教員にとっても、
これまで通り部活動を継続していくことが、
とても難しい状況になっているのです。

そこで、国が目指しているのが…

休日は、学校の部活動は行わないようにし、
休日も活動したい子どもたちのための環境は、
学校の枠にとらわれず地域全体で整えよう！

地域のスポーツ少年団、各種競技団体の指導者や活動者、部活動のOB、民間スポーツクラブ、総合型スポーツクラブ、希望する教員（要：兼業届）等が 休日の指導者となって…

休日の部活動を地域クラブ化すると

○ 休日の過ごし方を、子どもたちが主体的に選択できるようになります。

休日も部活動と同じ種目に取り組んで、更に上手になりたい！

中学校の部活動とは違う種目や、活動(ボランティア等)に取り組みたい！

休日は、家でじっくり学習や読書等に取り組みたい！

- 部活動だけでは触れ合えない人(地域の経験者や先輩・仲間)と交流することで、幅広い出会いと繋がりが生まれ、子どもたちの社会性が高まります。
- 地域の指導者に学ぶことで、指導者育成の好循環が生まれ、持続可能な活動環境の構築とコミュニティの活性化が図れます。
- 中学校における教員の働き方改革が促進し、授業等の教育活動の充実が図れます。

とはいえ…そのためには、クリアされるべき課題がたくさん！

中体連・大会の在り方

指導者・活動場所の確保と財源

活動場所への移動手段

自治体間の連携

保護者の負担増への対応

等々 国・中体連レベルの課題も山積



遊佐町では、どう進めていくの？

中学校・教育委員会・検討委員会が一体となり、休日の部活動について、**令和7年4月までの地域クラブ化を目標に**、関係者・学校との対話・連携のもとに、状況を整理しながら段階を踏んで取り組みを進めていきます。

- ① 遊佐町部活動の地域クラブ化に向けた検討委員会で**部活動の地域クラブ化についての方**向性の検討、それに伴う中学校と教育委員会による**部活動地域クラブ化の受け皿となり得る地域団体(総合型スポーツクラブ、スポーツ少年団、クラブチーム等)**との協議
- ② 地域クラブ化の円滑な移行体制を整えるため、**組織運営体制の構築**(運営事務局やコーディネーターの設置等)
- ③ 上記①・②を進める上で生じた課題の整理や**対応の具体的な方向を受けた活動環境の整備**(財源等の確保に向けた、町財政部局等との協議に基づく予算措置等)

※ 取り組みとして

- ◎ 関係者(遊佐小・中学校の児童生徒・職員・保護者、外部指導者、保護者会代表者、受け皿となり得る団体等)の理解を深め、**アンケートや対話でニーズと課題を把握**します。
- ◎ 現在の中学校と外部指導者の連携指導体制を起点に、**可能なところから休日の部活動の地域クラブ化に取り組み、同時に対応すべき課題を整理**します。
- ◎ 先進的な取り組みを行っている**他市町や庄内教育事務所からのアドバイスもおおきながら、実施上の課題を整理**します。

遊佐町の部活動の地域クラブ化に関するお問い合わせ先
遊佐町教育委員会 教育課 社会教育係 TEL 0234-72-2236
※部活動の状況等については、遊佐中学校へお問い合わせください。